

一般財団法人 日本製薬医学会
第4回年次大会 プログラム

2013年5月21日

2013年7月19日(金)

12:30-13:15	会員総会		
13:15-13:30	大会長講演	第4回日本製薬医学会総会 「Bringing better benefits to patients」	
	演者	ステュワート・ギリ	エーザイ株式会社/日本製薬医学会理事
13:30-15:50	基調講演①	iPS細胞研究の現状と医薬品開発における安全性評価への応用	
	演者	中畑 龍俊	京都大学 iPS細胞の研究の現状(仮)
	演者	関野 祐子	国立医薬品食品衛生研究所 ヒトiPS由来分化細胞の非臨床試験法への応用:試験法の標準化の重要性について
	演者	澤田 光平	エーザイ株式会社 創薬研究におけるヒトES/iPS細胞由来心筋細胞を用いた心毒性予測
	総合討論		
15:50-16:10	休憩		
16:10-16:30	特別講演①	製薬医学教育の現状と展望 ~PharmaTrain 事業の国際展開と日本での教育開講について~	
	演者	今村 恭子	オフィス PM 大阪大学・国立循環器病研究センターとの連携 /日本製薬医学会 理事長
16:30-17:30	基調講演②	Unmet medical needs と研究開発の展望	
	演者	堀田 知光	独立行政法人 国立がん研究センター
17:30-18:00	特別講演②	Investigators, Professionalism and the Future of Clinical Research: ACRES Global Challenge	
	演者	Greg Koski	Massachusetts General Hospital
18:00-20:00	懇親会	(懇親会会場: エーザイ株式会社本社 地下1階)	

2013年7月20日(土)

09:00-10:30	パネルディスカッション①	Compassionate use	
	演者	片木 美穂	卵巣がん患者の会 患者はどのようなコンパシヨネート使用制度を望むか スマイリー
	演者	宮田 俊男	厚生労働省 Expanded Access in Japan 医薬食品局審査管理課
	演者	犬山 里代	バイエル薬品株式会社
	演者	ステュワート・ギリ	エーザイ株式会社 コンパシヨネートユースの国際的な展望 /日本製薬医学会理事
	総合討論		
10:30-10:50	休憩		

10:50-12:00	パネルディスカッション②	リスクマネジメントに必要な人材とは	
演者	山本 美智子	昭和薬科大学	薬学部における医薬品安全性教育の取り組み
演者	堀 明子	独立行政法人 医薬品医療機器総合機構	製造販売後安全対策と、医薬品リスク管理計画に関するPMDAの取り組み
	総合討論		
12:00-13:00	ランチョンセミナー	エーザイにおける世界規模の官民パートナーシップ <エーザイ株式会社>	
演者	ブライアン スリングスピー	エーザイ株式会社、グローバルヘルス技術振興基金	
13:00-15:00	パネルディスカッション③	メディカルサイエンスリエゾン(MSL)に期待されること	
演者	清水 昇	クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社	機能するMSLとは？
演者	相野 博司	日本製薬医学会 メディカルアフェアーズ部会	製薬企業におけるメディカルサイエンスリエゾンの機能・課題に関する調査
演者	井上 雅博	脳神経センター 大田記念病院	臨床医がメディカルサイエンスリエゾン(MSL)に期待すること
	総合討論		
15:00-15:20	休憩		
15:20-16:50	パネルディスカッション④	資金透明化の時代における企業の果たす役割	
演者	北川 雅一	株式会社ACRONET	臨床研究に潜む企業リスクとその予防
演者	菊池 隆一	中外製薬株式会社	製薬企業による契約に基づく臨床研究支援
演者	川合 眞一	東邦大学	大学医局における研究費の現状と問題点
	総合討論		